

大学の世界展開力強化事業（平成29年度採択）事後評価結果

大 学 名	○北海道大学、新潟大学
整理番号	BR01
事 業 名	プラットフォーム構築事業

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 A	事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。
コメント 本事業は「ロシアの生活環境大国、産業・経済の革新のための協力プラン」に示された様々な課題の解決に取り組む、日露経済連携強化に資する幅広い人材育成と学術振興を目的とした産官学連携のプラットフォームを構築することを目指し実施された事業である。 事業展開では、日露大学協会の設立・運営とその発展・充実のために様々な取組や活動を実施し、地域コンソーシアムによる連携、留学生就職促進、委員会設置等が計画どおりに進められ、日露の大学間交流拡大に寄与したことは高く評価できる。また、専門セクション8分野を設定し、多岐に渡り、協力プランを議論したことも評価に値する。 一方で、当初計画されていた「空港港湾整備」及び「人的促進交流」が、日露首脳会談での提示に沿う形で「極東の産業振興」と「言語・文化・観光」に置き換わったことについては（「人的促進交流」は人材交流委員会で議論）、それぞれで当初考えていたことから何ほどの程度進展したのか、今後何が期待されるのか等が見えてくると更に良いと期待できる。 留意事項にも的確かつ真摯に対応している。また、ウェブサイトを通して、交流経験の乏しい大学に対しても、情報提供を積極的に行い、ロシア側からの問い合わせに対するマッチング活動等の対応を行っていた点も評価できる。 補助期間終了後も北海道大学と新潟大学の連携体制を維持する点、ウェブサイトの自己財源による維持等具体的な事業継続の方策が示されており、本事業で蓄積された好事例を、他国を対象とした大学の世界展開力強化事業に活用することで、さらなる日本の大学教育の国際化とグローバル展開に貢献することが期待される。 本事業は、広い専門分野を手がけてきたプラットフォーム構築から得られた事例やノウハウを、国際交流の発展にどのように貢献するかについて、これから検討しなければならない課題が多岐に渡っていることから、より効果的に活かせる方向性を見出す議論を期待したい。 総じて、本プラットフォームは日露においてしっかりした基盤を築いており、他の国際交流の良いモデルとなるであろう。よって、日露に限らず、大学のグローバル展開の良い見本となることが期待される。 最後に、国際情勢等を踏まえつつ、これまでの事業の成果をいかし、我が国の大学教育を牽引され、更なるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。	